

平成24年度 ユニバーサルサービス制度に  
基づく交付金の額及び交付方法の認可  
並びに負担金の額及び徴収方法の認可

平成24年11月27日

- ・ 補填対象額に支援業務費を加算し予測前年度過不足額を減算した額を、1月～12月の予測番号総数で除すことにより、各事業者が負担する（合算）番号単価を算定。

○補填対象額

	加入電話		第一種公衆電話			合 計
	基本料	緊急通報	市内通信	離島特例通信	緊急通報	
NTT東日本	2,346百万円	18百万円	1,951百万円	2百万円	1百万円	4,319百万円
NTT西日本	1,157百万円	22百万円	1,858百万円	5百万円	1百万円	3,044百万円
東西計	3,503百万円	40百万円	3,810百万円	8百万円	2百万円	7,363百万円
(参考) 前年度	7,081百万円	51百万円	3,964百万円	9百万円	2百万円	11,106百万円
増 減	▲3,577百万円	▲11百万円	▲154百万円	▲1百万円	+0百万円	▲3,743百万円

○支援業務費

(H24年度支援業務費：予算額 80百万円 - 前期繰越額 12百万円)

68百万円

(H23年度支援業務費：56百万円)

○予測前年度過不足額

▲159百万円

○番号単価

(合算) 番号単価 = 
$$\frac{\text{補填対象額 (7,363百万円)} + \text{支援業務費 (68百万円)} - \text{予測前年度過不足額 (▲159百万円)}}{\text{平成25年1月～12月までの予測算定対象電気通信番号の総数の合計 (2,613百万番号)}} = 2.904961026\text{円/月} \cdot \text{番号}$$



(合算) 番号単価

3円/番号・月

8

(うち、東日本分：1.759690177円  
西日本分：1.240309823円)

<前年度(7月～12月)>  
3円/番号・月  
NTT東日本分：1.73278160円  
NTT西日本分：1.26721840円

(注)・東西合算の番号単価は整数未満を四捨五入  
・東西別の番号単価は、合算単価を東西の補填対象額の割合で案分

【参考】NTT東日本・西日本のユニバーサルサービス収支表（基礎的電気通信役務収支表）（平成23年度）

・平成23年度におけるNTT東日本・西日本のユニバーサルサービス収支の状況は、NTT東日本で▲589億円、NTT西日本で▲490億円の赤字（東西計で▲1,079億円）となっている。

○平成23年度ユニバーサルサービス収支表（単位：百万円）

NTT東日本			
	営業収益	営業費用	営業損益
加入電話	305,330	361,890	▲56,560
基本料	305,330	361,546	▲56,216
緊急通報	—	343	▲343
第一種公衆電話	872	3,178	▲2,306
市内通信	870	3,171	▲2,300
離島特例通信	1	5	▲4
緊急通報	—	1	▲1
合計	306,202	365,069	▲58,866
(参考) 前年度	337,377	396,836	▲59,459
増減	▲31,174	▲31,766	+592

NTT西日本		
営業収益	営業費用	営業損益
311,392	358,721	▲47,329
311,392	358,425	▲47,032
—	296	▲296
466	2,125	▲1,658
465	2,117	▲1,652
1	6	▲5
—	1	▲1
311,859	360,847	▲48,987
342,327	393,181	▲50,854
▲30,467	▲32,334	+1,866